

令和2年6月4日

保護者の皆様

昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

登校再開にあたり

長く苦しい臨時休校がようやく終わり、学校が本格的に動き始めました。保護者の皆さまには、皆さま御自身や御家族が大変な思いをなさっている中、本校の教育に対して、たくさんの御心遣いを賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、子供たちは休校期間を乗り切り、6月1日（月）から欠席もほとんどなく、毎日元気に登校し、友だちや先生方との学校生活を満喫しています。

感染症の防止には、引き続き、徹底した対策が不可欠です。初日は検温やマスク忘れが19名もあったものの、3日目にはマスク忘れはゼロ、検温の記入漏れが3名のみと激減しました。これも皆さまの御協力なしには、実現できないことであり、あらためて感謝申し上げます。

さて、本校では、休校中から「つながる」「守る」「切り開く」ことを大切に、ゆったりとした時間の中で、段階的に教育活動を積み重ねています。現在取り組んでいる「応援のお手紙」につきましては、近日中に学校ホームページ等で、途中経過を掲載させていただきます。このことも、皆さまには多大なご協力いただいているところですが、子供たちが未来の創り手として、コロナに向き合い、社会に向き合い、課題を解決していく大きな学びになるものと考えています。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

そして、明日からは午前授業、来週木曜日からは給食が始まり、その後は、1週間ごとに1日の授業時数を1時間ずつ延ばしていきます。これは、子供たちが突然6時間授業の中に入り、不適應を起こさないための方策です。ゆっくりとした時間の流れの中で、少しずつ、子供たちが無理なく、学校生活を楽しめるように、かつ学ぶ力を確実に伸ばしていくように、バランスを取りながら進めていく所存です。

最後になりましたが、緊急事態宣言が解除された今も、今回の災禍は継続中です。私たちは、今も、有事を生きていることに変わりはありません。命は、一人に一つです。また、「今」という時も、二度と戻ってきません。これからも、しばらく、難しい選択の連続だと思えます。今までの積み重ねを信じ、最善の方策を構築してまいります。それでも、すぐに、それを壊し、再構築が必要になる状況が発生することも想定されます。職員一同、どのようなことが起きようとも、全力で不測の事態を乗り越えていく覚悟です。

保護者の皆さま、今は、まさにワンチームです。学校と家庭や地域が一つになって、この難局を乗り切り、ピンチをチャンスに変える時です。大きな変革の時です。例年に増しての厚い応援をお願い申し上げます。

学校再開に際し、お子さんと御家族の皆さまの御健康をお祈りいたしております。